

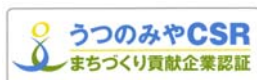
環境・CSR 報告書 2011・2012

Environmental・CSR Report 2011・2012

特別史跡・特別天然記念物 日光杉並木街道附並木寄進碑(栃木県日光市)(7月)

栃木県知事許可(般-23)第 16033 号

KYORITSU ELECTRICAL MANUFACTURING INDUSTRY Co.,Ltd.



(社)日本配電制御システム工業会 JSIA 優良認定工場
(社)公共建築協会評価書(盤類)取得工場
ISO9001・ISO14001 認証取得工場

株式会社 協立製作所

配電盤事業部・盤ドック事業部・防犯事業部

社長メッセージ

配電盤・制御盤メーカーとして社会に貢献できる企業へ

2006年1月にISO14001の認証を取得してから、地球環境問題への取り組みを定め、環境保全活動を積極的に推進してまいりました。ISO14001をはじめ、『ECOうつのみや21』認定（宇都宮商工会議所）『エコキーパー事業所（三ツ星）』認定（栃木県）を受けております。さらに2009年12月には、『マロニエECO事業所表彰』の「温室効果ガス削減部門」において特別賞を受賞し栃木県知事から表彰を受けました。


このような環境への取り組み・CSR活動をつづけるなか、2011年3月の東北地方太平洋沖地震により弊社工場も「半壊」の被害を受けました。しかし、この被災を機会に、より作業効率のよい新社屋の建設をおこない、2011年10月に無事に稼働開始することができました。戦後で最大の国難となった2011年の夏には、節電活動に全力で取り組み、使用電力量を昨年比で70%超を達成し、宇都宮市長より『うつのみや節電大作戦』特別賞をいただきました。

CSR活動においては、2009年11月に『宇都宮まちづくり貢献企業』に認定されております。また、2010年2月に『宇都宮市雇用優良事業所表彰』において優秀賞を受賞し、宇都宮市長から表彰を受けました。また、2010年には「日光杉並木オーナー制度」に賛同し、日光杉並木オーナー（2本）となりました。

新しい社屋の完成とともに、地球環境にもやさしい企業活動を続け、自動制御盤・配電盤・監視制御装置の設計・製造を通し、国家・社会に貢献できる企業をめざし、より一層努力してまいります。皆様方の一層の御支援・御指導をお願い申し上げます。

平成24年7月吉日
株式会社協立製作所
代表取締役社長 大谷津敏之





- 目次 -

1 . 環境報告

(1) 環境方針

(2) 事業活動により環境に与える影響

(3) 品質・環境管理体制

(4) 平成 23 年度の環境活動目標

(5) 廃棄物削減を目的としたリサイクル推進

(6) 推移グラフ 事務用紙使用量 (6 年間) 売上高ベース・量ベース
一般廃棄物排出量 (6 年間) 売上高ベース・量ベース
CO₂ 排出量 (6 年間) 売上高ベース・量ベース

(7) 「日光杉並木オーナー制度」への賛同 - 日光杉並木保護 -

(8) 「協立クリーン大作戦」の実施 - ボランティア地域清掃活動 -

(9) 省資源・省エネルギー活動の推進 - 省エネ化設備の利用 -

(10) 『うつのみや節電大作戦』特別賞受賞

(11) 社外への改善提案の発信

1) 環境・C S R 報告書の作成・公開

2) 環境マネジメントシステムの多面的導入

(12) 今後の環境活動目標

2 . CSR 報告

(1) 品質

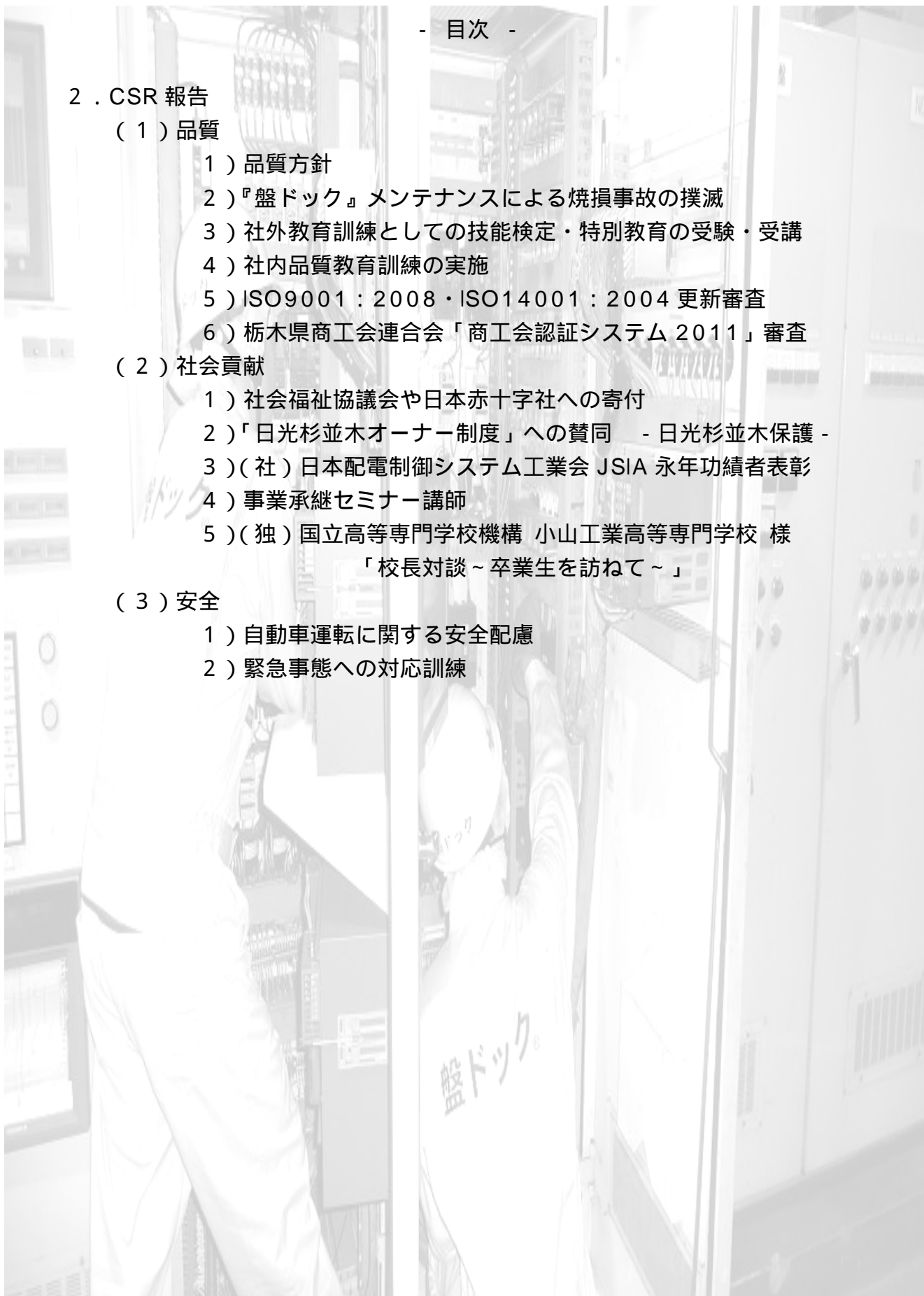
- 1) 品質方針
- 2) 『盤ドック』メンテナンスによる焼損事故の撲滅
- 3) 社外教育訓練としての技能検定・特別教育の受験・受講
- 4) 社内品質教育訓練の実施
- 5) ISO9001 : 2008 ・ ISO14001 : 2004 更新審査
- 6) 栃木県商工会連合会「商工会認証システム 2011」審査

(2) 社会貢献

- 1) 社会福祉協議会や日本赤十字社への寄付
- 2) 「日光杉並木オーナー制度」への賛同 - 日光杉並木保護 -
- 3) (社) 日本配電制御システム工業会 JSIA 永年功績者表彰
- 4) 事業承継セミナー講師
- 5) (独) 国立高等専門学校機構 小山工業高等専門学校 様
「校長対談～卒業生を訪ねて～」

(3) 安全

- 1) 自動車運転に関する安全配慮
- 2) 緊急事態への対応訓練



環境報告

(1) 環境方針 クリーンで地球環境にやさしい配電盤づくりをめざします



弊社では、配電盤・制御盤の設計・製造活動をおこなうにあたり、品質・環境マネジメントシステムを設けています。

品質・環境方針を定め、品質・環境マネジメントシステムの継続的改善を推進することにより、より地球環境にやさしい配電盤づくりをめざしています。

品質・環境方針

《基本理念》

1. 私達はおお客様の要求に適合する製品を提供することにより、お客様の信頼とご満足を追求め続けます。
2. 私達はクリーンな地球環境との共生を人類共通の課題と認識し、企業活動を通し安心できる社会と環境づくりに貢献します。

《基本方針》

1. ISO9001・ISO14001に基づく品質・環境マネジメントシステムを構築し、その要求事項の適合と有効性の継続的な改善を行います。
2. 法規制及び利害関係者の要求事項を順守し、当社のマネジメントシステムに従い行動します。
3. 一人ひとりがおお客様の視点にたつて、制御盤・配電盤及び監視制御装置の品質向上を目指します。
4. 省資源・省エネルギー活動を推進し、廃棄物の削減と資源の有効利用に努めます。
5. 有害物質の使用を削減し、汚染の予防に努めます。
6. 二酸化炭素の発生量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
7. この方針は定期的にレビューし、日々変化する現況を適時反映させます。

2011年10月1日

株式会社 協立製作所

代表取締役 大谷津敏之

(2) 事業活動により環境に与える影響

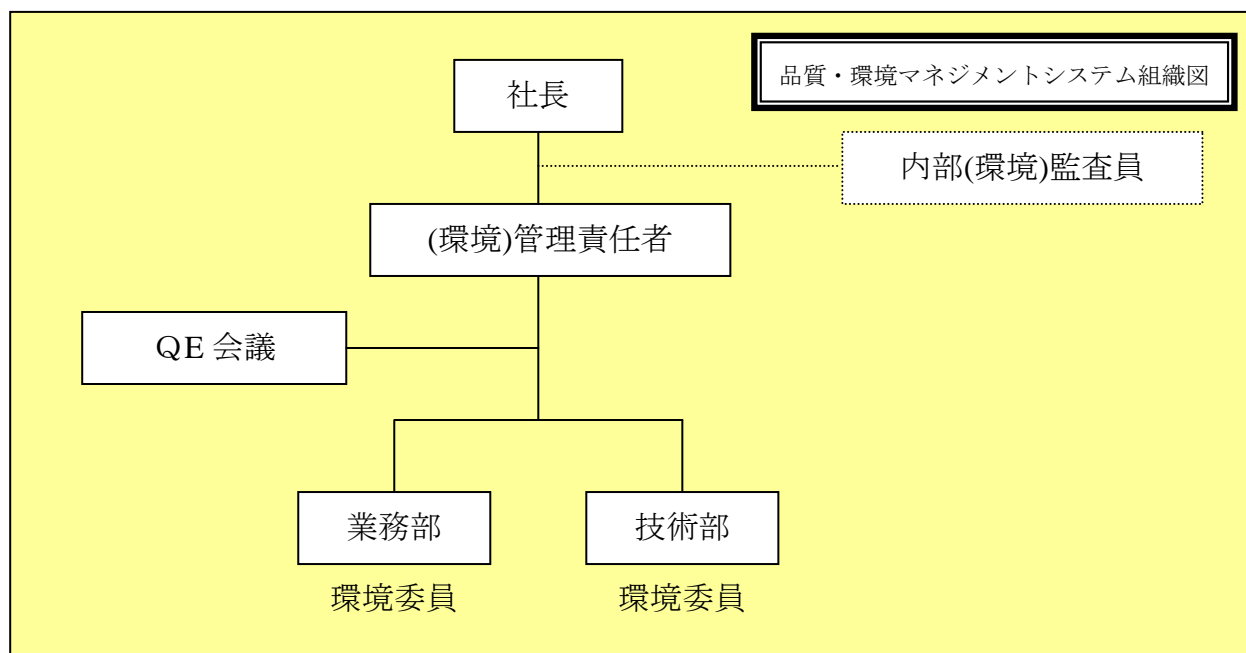
弊社は、制御盤、配電盤および監視制御装置の設計・製造を通し、お客様の一品毎の設計・製造のニーズに継続的に応えています。この事業活動のあらゆる段階における環境負荷の把握およびその低減を図るために様々な環境活動を推進しています。

環境に与える影響（OUTPUT）の要因になるもの（INPUT）として、生産活動における燃料や電気等のエネルギーの消費、部品の梱包材等の廃棄物、製品の設計段階および事務処理で発生するコピー用紙が主に挙げられます。これらのINPUTを効率的に活用し全体の使用量を削減するための活動を積極的に取り組んでいます。

この活動を推進していくことにより、大気汚染、廃棄物の排出の低減を図っています。

(3) 品質・環境管理体制

弊社では効果的かつ効率的な品質・環境マネジメントシステムの運用を図るために、有効な組織を構築し、役割や責任および権限を明確にしています。



内部環境監査員を置き、定期的に環境内部監査を行うことにより、環境マネジメントシステムの運用が効果的かつ効率的に働いているかどうかを評価しています。

また、定期に開催する品質および環境のマネジメントシステムに関する会議（QE会議：平成23年度は9回開催・平成24年度は8回開催予定）を通して、組織運営上の情報を共有化し、目標達成の有効性の確保に努めています。

さらに、環境マネジメントシステムの実行にあたり、社員一人ひとりの意識向上と環境に対する知識の習得のため、教育訓練を行っています。

(4) 平成 23 年度の環境活動目標

項目	目標	具体的な取組内容
省資源	一般廃棄物の削減	一般廃棄物の一部を資源ごみとしてリサイクル（分別の徹底）
地球温暖化防止	廃棄物焼却・燃料及び電気の消費により発生する CO ₂ の削減	電気・燃料使用量の削減 焼却する廃棄物の削減
震災による環境影響への対応	震災の影響からの原状回復および廃棄物の適切な処理	震災被害に遭った建物等の復旧および震災により発生した廃棄物すべてのマニフェスト管理

(5) 廃棄物削減を目的としたリサイクル推進

弊社では、製品の設計や業務活動においてコピー用紙を使用しており、製品を製造する過程で部品の梱包材等の一般廃棄物を排出しています。この結果、これら一般廃棄物の焼却および事業活動の展開を通して二酸化炭素が排出されています。貴重な資源を有効活用し今後の地球環境に大きく関わる二酸化炭素の排出を削減するためには、事業活動におけるリデュース、リユースおよびリサイクルの取り組みが重要であると認識し、

【省資源】として《一般廃棄物の一部を資源ごみとしてリサイクル（分別の徹底）》

【地球温暖化防止】として《電気・燃料使用量の削減焼却する廃棄物の削減》

【震災による環境影響への対応】として《震災被害に遭った建物等の復旧および震災により発生した廃棄物すべてのマニフェスト管理》

を 23 年度に取り組む内容とし、

一般廃棄物の削減

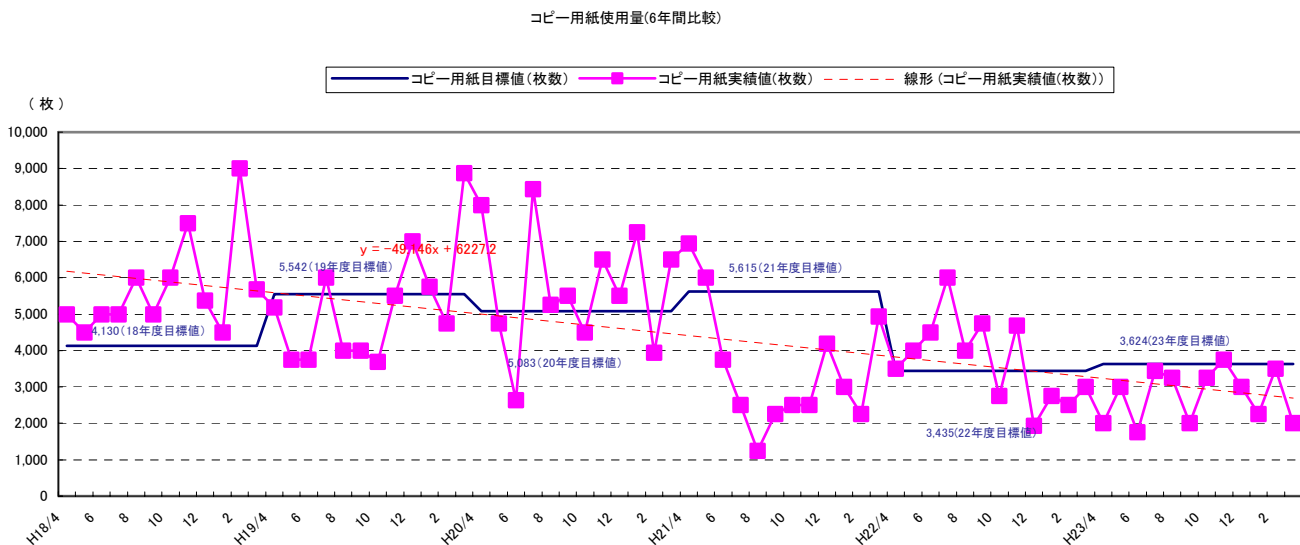
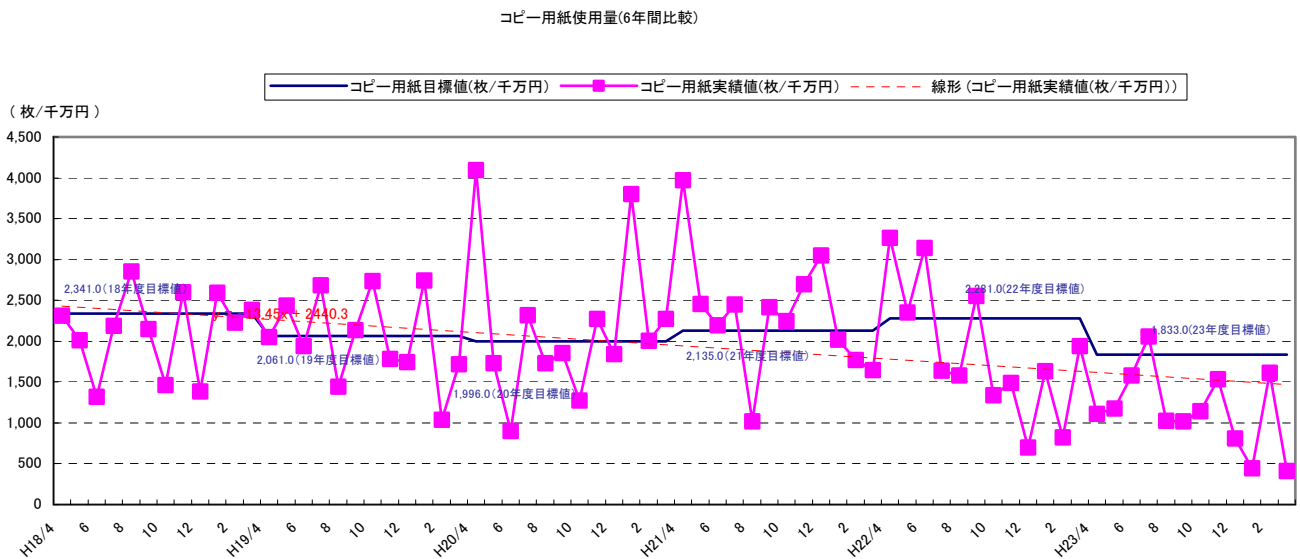
廃棄物焼却・燃料及び電気の消費により発生する CO₂ の削減

震災の影響からの原状回復および廃棄物の適切な処理社外へ改善提案の発信

を目指し活動してきました。

この結果、東北地方太平洋沖地震の影響もあり、一般廃棄物は前年度対比で排出量ベースにおいては 154.8%増加・売上高原単位においても 115.2%増加、CO₂ は前年度対比で排出量ベースにおいては 3.7%増加してしまいましたが、売上高原単位において 17.8%減少させることができました。また、震災による環境影響への対応として、震災の影響で発生した廃棄物の適切な処理（排出される廃棄物やフロンガスについてのマニフェスト管理）を行ないました。また、社外への改善提案の発信は、環境・CSR 報告書の作成・公開、「日光杉並木オーナー制度」への賛同（2 本）、「協立クリーン大作戦」の開始・「うつのみや節電大作戦」への参加などを通して実現することができました。

(6) 推移グラフ (事務用紙使用量・一般廃棄物排出量・CO₂ 排出量)

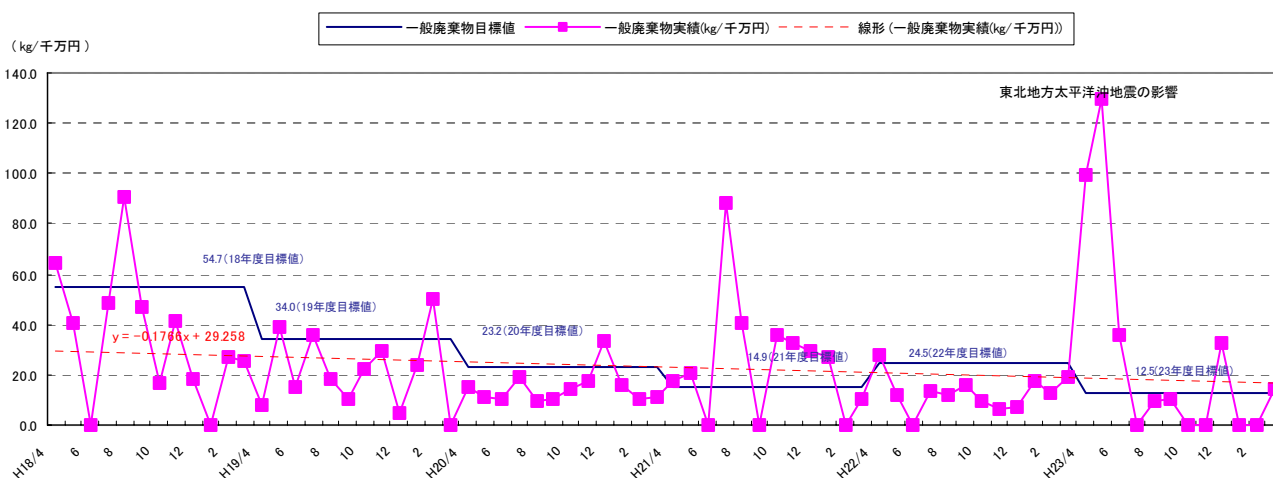


事務用紙使用量の推移

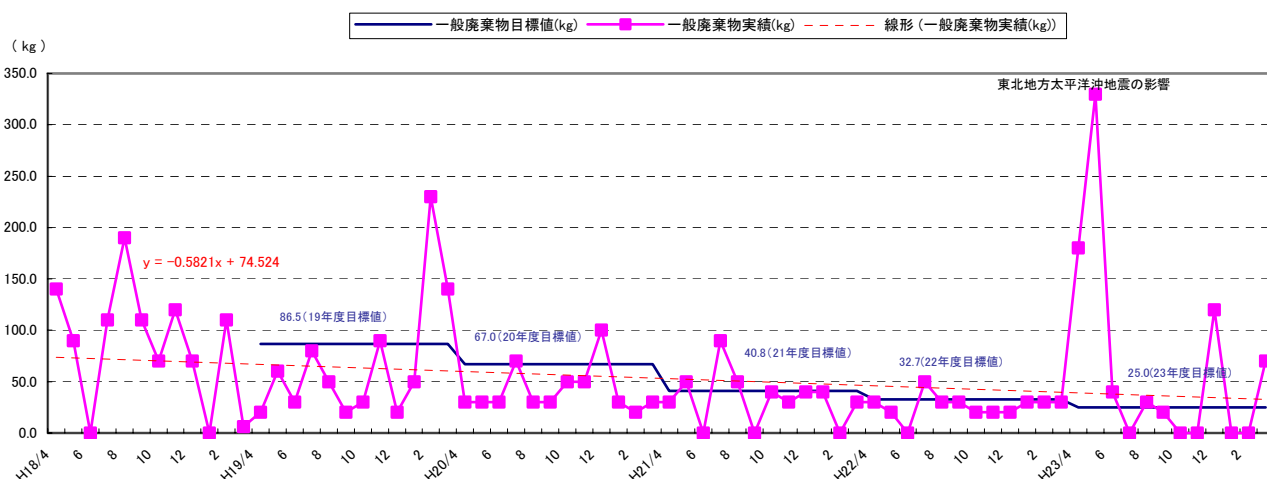
直近6年間の事務用紙使用量の推移のグラフです。反故紙の使用や両面印刷の励行により、近年まで事務用紙の使用量を減少させることができました。

下段のグラフは、枚数単位にもとづく6カ年の推移です。震災からの復興需要もあり大手工場での設備投資が増加し、弊社でも製品受注量が増加しました。その結果、事務用紙の使用量は前年に比べ増加しましたが、反故紙の徹底利用により事務用紙使用量を抑えることができました。上段のグラフは、売上高原単位にもとづく6カ年の推移です。前年と比較して原単位使用量が低下したことが分かります。

一般廃棄物(6年間比較)



一般廃棄物(6年間比較)

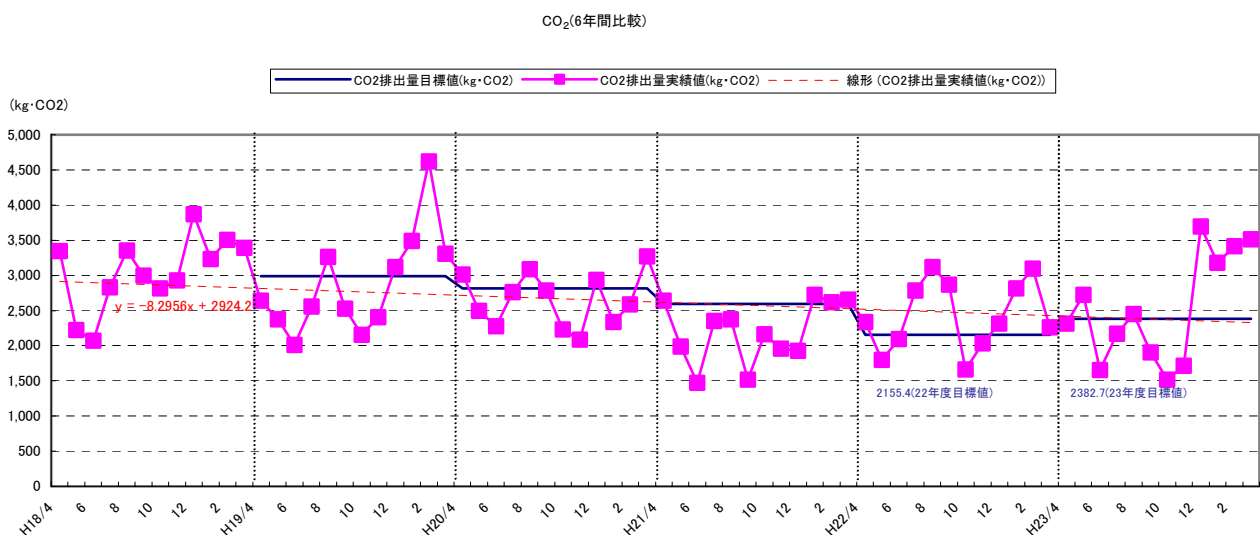
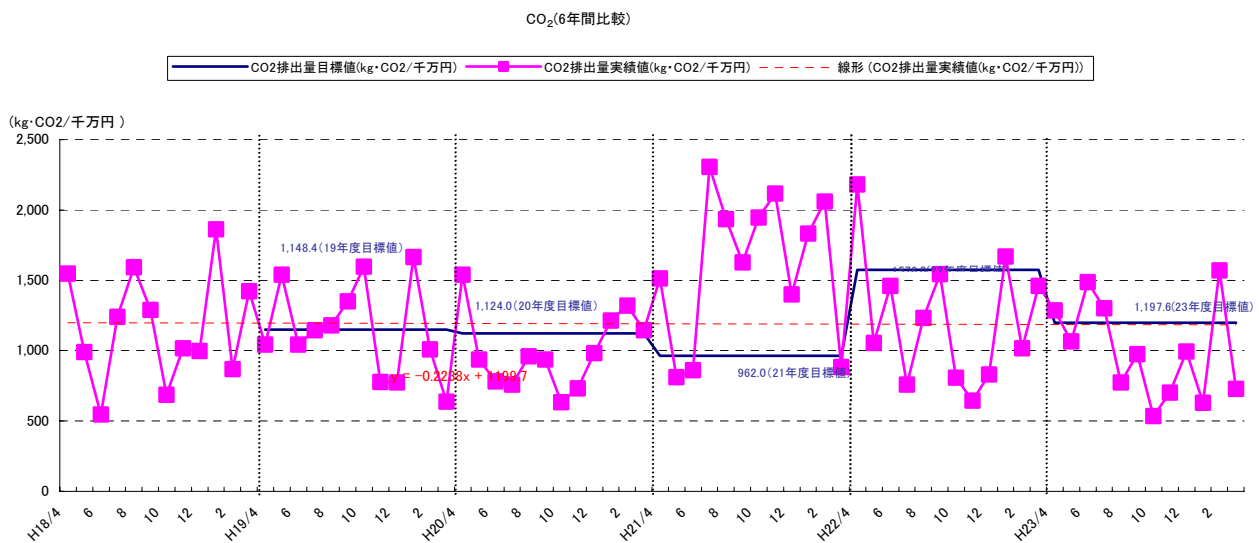


一般廃棄物の排出量の推移

直近6年間にわたる一般廃棄物の排出量の推移のグラフです。

一般廃棄物は紙・布・木屑で構成されています。6年間の間において時間が経過するにたが、排出量が大幅に抑制されていることがわかります。これは、一般廃棄物の一部(ダンボール・厚紙)としていたものを「資源ごみ」としてリサイクル利用に転用したことや、事務用紙の使用方法に関して、反故紙の利用や両面印刷の励行を実施しているため、事務用紙の排出量が抑えられているためです。

ただし、東北地方太平洋沖地震の影響により大量の廃棄書類が発生したため2011年4月から6月の期間の排出量は突出して増加しています。



二酸化炭素の排出量の推移

直近6年間にわたる二酸化炭素の排出量の推移のグラフです。

二酸化炭素の排出は、主に自動車燃料の消費・電気エネルギーの消費で構成されています。下段のグラフはCO₂の排出量ベースにグラフです。昨年度と比較し活動量が増加したため、CO₂の排出量は増加しました。しかし、全体的には緩やかではありますが抑制傾向にあることがわかります。これは、エコドライブ等の実施による燃費の向上や事務所および工場の照明やエアコン等の電気を用いる設備について省エネルギー活動を積極的に実施しているため、二酸化炭素の排出量が抑えることができたためです。弊社での二酸化炭素排出量の削減活動が有効に機能しているといえます。

売上高原単位では、受注高回復により目標値を達成することができました。

(7) 「日光杉並木オーナー制度」への賛同 - 日光杉並木保護 -



《日光杉並木オーナー証書交付式》 2010/10/25実施 於) 栃木県庁本館9階特別会議室



麻生栃木県副知事と記念撮影

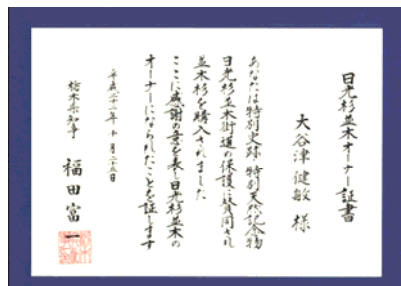
「日光杉並木オーナー制度」とは

杉並木保護に賛同し出資した基金の運用益で並木杉の樹勢回復・自然環境保護を目的に平成8年より栃木県が実施している事業です。

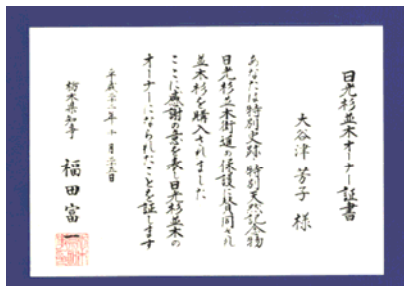


オーナー証書を授与される弊社社長夫妻

今回社長夫妻がそれぞれ杉並木のオーナーとなりました。



日光杉並木オーナー証書



オーナー証書(木製)



日光杉並木

日光杉並木は、日光東照宮が造営された頃に、徳川家の家臣であった松平正綱、正信親子2代により20数年の歳月をかけて植えられたものです。1625年の植栽から380年余りの歴史が刻まれています。

栃木県が世界に誇る貴重な文化遺産で、わが国唯一、国の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けており、また世界で最も長い並木道としてギネスブックに掲載されています。

(8)「協立クリーン大作戦」の実施 - ボランティア地域清掃活動 -

平成22年5月～平成23年3月までの記録

弊社では、CSR活動の一環として、白沢工業団地内から近隣住宅付近までを範囲としたボランティアによる清掃活動『協立クリーン大作戦』を毎月実施しています。



白沢工業団地内から近隣地域までを従業員全員で清掃活動しています（第1回～第10回実施からの抜粋）



収集したゴミは、毎回、種類別に分別し、計測・記録したのちに、適切に処理しています。処理に関しては、事前に宇都宮市環境部様に書類を提出し市の協力をいただいています。



清掃活動時に交通車両等から身を守るための安全を考慮し、明るく反射する蛍光色のオリジナルジャンパーと帽子を使用しています。

これからも株式会社協立製作所は、弊社の理念にもとづき、事業とCSR活動を一体化して進めていきます。より多くの方々に役立つように、企業の社会的責任を果たし、国家・地域社会に貢献できる企業を目指します。

(9) 省資源・省エネルギー活動の推進 - 省エネ化設備の利用 -

弊社では、「クリーンな地球環境との共生」を実現する活動のひとつとして「省資源・省エネルギー活動」を推進しています。節電や節水など当該活動の一環として、エコパワーメータの設置や節電を「見える化」するための電力モニターや電光掲示板の設置をおこないました。さらに水資源を大切にするために、節水効率の高い新型トイレを設置しました。



エコパワーメータの設置



照明やエアコンの消費電力を計測しています



仕事の合間に試験的に製作した社長手作りの電力モニター



工場内に現在の使用電力を表示する電光掲示板



マイクロ波センサー感知し節水効率の高いファジー制御によるの自動吐水



被災前に節水のために手洗い用の水道も自動化しましたが、震災でも無事であったため再び使用しました。

(10) 『うつのみや節電大作戦』特別賞受賞

2011/12/14 実施 於) 宇都宮市役所 3F 第一応接室

東北地方太平洋沖地震の影響による電力不足のため宇都宮市ではこの夏『うつのみや節電大作戦』を実施しました。協立製作所では国難となった今年の夏の電力不足に少しでも貢献しようと会社全体で節電活動に取り組みました。7月～9月での使用電力量の目標を昨年比で50%と設定し、活動の結果71.7%を達成しました。その活動が認められ「特別賞」を受賞することができました。



- 左から・高橋俊行支社長(東京ガス宇都宮支社)
 ・北村光弘宇都宮商工会議所会頭
 ・佐藤栄一宇都宮市長
 ・増子泰久支店長(足利銀行清原リテールセンター)
 ・大谷津敏之社長(協立製作所)

2011年(平成23年)12月15日(木曜日) 下野新聞

「うつのみや節電大作戦」
足銀支店など3社表彰

【宇都宮】7月から「うつのみや節電大作戦」の一環として、市内の事業所向けに市議会議員、特別賞に推薦された協立製作所が、前年同期で電力使用量が40%削減されたことについて、表彰された。

足利銀行清原リテールセンター、市長官舎足利銀行清原リテールセンター

「うつのみや節電大作戦」で協立製作所が特別賞を受賞したことが掲載されました

下野新聞 2011年12月15日

表彰状

特別賞
 株式会社協立製作所 殿

貴社は「うつのみや節電大作戦」にエントリーし夏の節電に積極的に取り組まれました。よってその実績を称えここに表彰します。

平成23年12月14日
 宇都宮市長 佐藤 栄一

「うつのみや節電大作戦」で協立製作所が特別賞を受賞したことが掲載されました

「うつのみや節電大作戦」で協立製作所が特別賞を受賞したことが掲載されました

「うつのみや節電大作戦」で協立製作所が特別賞を受賞したことが掲載されました



受賞者3社と宇都宮市長および宇都宮商工会議所会頭との懇談



「うつのみや節電大作戦」特別賞表彰状と記念品のクリスタルガラス製の壺

(11) 社外への改善提案の発信

社内に関する環境活動に留まらず、プラスの環境影響を及ぼすことができるように、社外へ環境情報の公開や改善提案の発信(取引先等への環境に関する改善提案)を行っています。このため、弊社の環境活動情報を公開し社外とのコミュニケーションを活発にするため、環境・CSR報告書の作成・公開しています。また外部からの情報をより早く入手するため、第三者による環境に関する外部審査を複数受けています。

1) 環境・CSR報告書の作成・公開



環境・CSR報告書2010の抜粋

弊社では、2006年にISO14001を認証取得してから、年1回環境報告書を作成しています。2008年度の報告からは、弊社ウェブページでも公開しており、どなたでも閲覧できるようになっています。



2) 環境マネジメントシステムの多面的導入

弊社では、『環境にやさしい配電盤づくり』をめざし、環境マネジメントシステムを多面的に導入しています。外部からの審査により客観的な環境マネジメントシステムを構築・運用しています。



ISO14001 認定証
(UKAS)



エコキーパー事業所認定
3つ星(栃木県)



ECO うつのみや21
(宇都宮商工会議所)

2005年度にISO14001(UKAS)認証取得

2008年度にECO うつのみや21(事業所版環境ISO)(宇都宮商工会議所)認証取得

2009年度にECO キーパー事業所(栃木県)認証取得

(1 2) 今後の環境活動目標

弊社では、今後の環境活動目標として

一般廃棄物の削減（一般廃棄物の一部を資源ごみとしてリサイクル）
地球温暖化防止（CO₂の削減/電気・燃料の使用の効率化・使用量の削減）
震災の影響からの原状回復および廃棄物の適切な処理社外への改善提案の発信

を昨年に引き続き掲げています。

「社外への改善提案の発信」に関しましては、環境・CSR 報告書の内容充実や、宇都宮市や栃木県など公共の機関が展開する活動への積極的参加など、社外に対してもプラスの環境影響を与えることができる行動を率先して実施していきます。

このように「社外への改善提案の発信」を積極的におこない、クリーンな地球環境との共生をめざし、企業活動を通し安心できる社会と環境づくりに貢献できるよう努力していきたいと思えます。

今後とも、弊社における環境への取り組みをご理解いただくとともに一層のご支援をお願いいたします。

CSR 報告



(1) 品質

1) 品質方針

徹底した品質管理と高い技術力で
信頼される製品づくりをめざします



弊社では、顧客満足の向上と安心できる環境づくりをめざし、品質・環境マネジメントシステムの改善を継続的に推進することにより、社会貢献するために、品質方針と環境方針を定めています。

当社は、品質マネジメントシステムの継続的改善を推進するため、複数の外部審査を受けています（ISO9001、(社)日本配電制御システム工業会 JSIA 優良工場認定審査、(社)公共建築協会/電気設備機材等評価書（盤類/制御盤）栃木県商工会連合会 商工会認証システムなど）。

品質・環境方針

《基本理念》

1. 私達はおお客様の要求に適合する製品を提供することにより、お客様の信頼とご満足を追求し続けます。
2. 私達はクリーンな地球環境との共生を人類共通の課題と認識し、企業活動を通し安心できる社会と環境づくりに貢献します。

《基本方針》

1. ISO9001・ISO14001 に基づく品質・環境マネジメントシステムを構築し、その要求事項の適合と有効性の継続的な改善を行います。
2. 法規制及び利害関係者の要求事項を順守し、当社のマネジメントシステムに従い行動します。
3. 一人ひとりがおお客様の視点にたって、制御盤・配電盤及び監視制御装置の品質向上を目指します。
4. 省資源・省エネルギー活動を推進し、廃棄物の削減と資源の有効利用に努めます。
5. 有害物質の使用を削減し、汚染の予防に努めます。
6. 二酸化炭素の発生量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
7. この方針は定期的にレビューし、日々変化する現況を適時反映させます。

2011年10月1日

株式会社 協立製作所

代表取締役 大谷津敏之

2) 『盤ドック』メンテナンスによる焼損事故の撲滅

締付不良による焼損事故を撲滅することは、配電盤・制御盤メーカーとしての社会的責任と認識し、配電盤の熱画像による過熱箇所診断サービス『盤ドック』(商標登録番号：第5241322号)のメンテナンス業務をおこなっています。

『盤ドック』とは？

熱画像カメラ(サーモグラフィカメラ)を用いて配電盤および高圧キュービクル等の充電部の電気回路の**異常点**を発見する**非破壊検査**です。

締付不良・ネジの緩み等を原因とした**異常昇温による焼損事故**や事故の波及による**工場設備の稼働停止等**を未然に防ぐことに効果的です。

展示会でも大好評でした

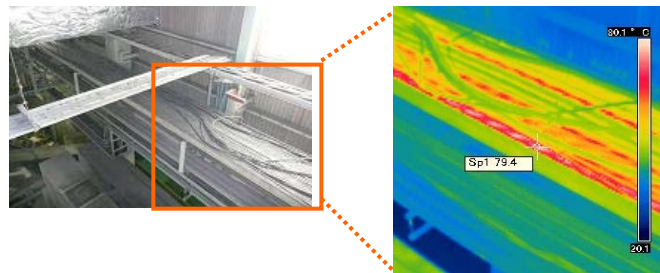


『盤ドック』展示会出展
2011年10月19日(株足利銀行主催)
『ものづくり企業展示会・商談会2011』
マロニエプラザ大展示場にて



『盤ドック』案内用リーフレット

配電盤以外の箇所にも有効です



ケーブルラックの温度です(冬期で最高箇所79.4でした)。このように配電盤以外の箇所にも応用できます。



制御盤メーカースタッフによる専門的な検査です



『盤ドック』商標登録証

3) 社外教育訓練としての技能検定・特別教育の受験・受講



低圧電気取扱業務特別教育の実施

2010年10月21日



丸のこ等取扱い作業従事者教育および自由研削砥石特別教育の実施

2011年01月07日

そのほか、シーケンス制御作業技能検定・マイクロソルダリング試験など数種の試験・検定を受講し、技能の向上に努めています。

4) 社内品質教育訓練の実施

組織を構成する従業員個人の技術・能力の向上をより重視し、社内での品質教育訓練を数多く実施しています。また、資格取得推進制度を設け、受験料・交通費等を会社が全額負担し、各個人の技術向上を後援しています。



製麹室総合盤シーケンス&特性試験研修の実施

2010年10月29日



ポンプ制御盤の説明研修会

2010年11月06日



ポンプ制御盤の説明に使用したテキスト



ポンプ制御盤の実物を用いての説明

5) ISO9001 : 2008 ・ ISO14001 : 2004 更新審査

2010年11月06～07日
2011年12月13～14日

DAS ジャパン (UKAS) による ISO9001 & ISO14001 の統合サーベイランスを受審しました。弊社は ISO9001 取得してから 12 年目、ISO14001 を取得してから 7 年目を迎えました。



経営者および管理責任者、各グループリーダー
(営業・購買・総務・設計・製造・品質保証)
が参加して実施した統合サーベイランス
《弊社会議室にて》



工場内現場審査



工場内作業者へ質問する審査員

品質および環境の両面にわたり数々のご指摘や改善の機会を与えていただきました。この結果、より効果的かつ効率的なシステム構築へステップアップすることができました。



当社が取得している品質マネジメントシステムの認証マーク



当社が取得している環境マネジメントシステムの認証マーク

6) 栃木県商工会連合会「商工会認証システム 2011」審査

2012年03月08日

栃木県商工会連合会企業力ランクアップ事業「商工会認証システム 2011」の審査を受けました。

「商工会認証システム」は、会員企業の経営品質の向上および取引の活性化のふたつを目的として実施されます。「日本経営品質賞」の審査基準に基づく8つのカテゴリーの40設問に対して、選択肢の中から該当項目をチェックすることで、自社の強み、改善領域を知ることができるように設計がなされています。

株協立製作所では2001年にはじめての審査を受けてから今回で連続8回目の審査となりました（2001年～2004年には毎年、2005年からは隔年の審査となっています）



書類事項の確認審査



工場の現場審査

日本経営品質賞について

日本経営品質賞は、80年代の米国経済の復活に寄与したとされる米国国家品質賞「マルコム・ボルドリッジ国家品質賞（MB賞）」を範としており、わが国企業が国際的に競争力のある経営構造へ質的転換をはかるため、顧客視点から経営全体を運営し、自己革新を通じて新しい価値を創出し続けることのできる「卓越した経営の仕組み」を有する企業の表彰を目的とした（財）日本生産性本部（旧 社会経済生産性本部）が1995年12月に創設した表彰制度です。

審査には当社の経営層が立会い、書類審査および工場の現場審査を受けました。ISO審査やJISA優良工場審査とは異なる視点から多くの指摘を受けることができ、企業経営において一層の改善を図ることができる審査でした。



工場外周の現場審査



商工会経営品質認定証

(2) 社会貢献

1) 社会福祉協議会や日本赤十字社等への寄付



社会福祉協議会賛助会員証



日本赤十字社栃木県支部長福田富一氏より
銀色有功章を受章する協立製作所代表
(栃木県公館大会議室にて)

2010年11月17日



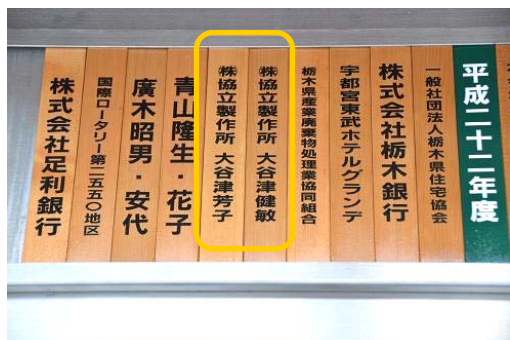
受領した銀色有功章(楯・表札・徽章)

賛助会員として、毎年、宇都宮市社会福祉協議会に『社会福祉協議会賛助会員会費』を協力しています。この会費は宇都宮市における地域福祉活動やボランティア活動推進に利用されます。また、弊社が赤十字事業の進展に貢献をしたことが認められ、その功労に対する感謝の意が表され、日本赤十字社より銀色有功章が贈られました。

2) 「日光杉並木オーナー制度」への賛同 - 日光杉並木保護 - 2010年10月25日



「日光杉並木オーナー制度」とは、杉並木保護に賛同し出資した基金の運用益で並木杉の樹勢回復・自然環境保護を目的に平成8年より栃木県が実施している事業です。弊社では会長夫妻が「日光杉並木オーナー制度」の趣旨に賛同し、日光杉並木のオーナー(2本)となりました。



集合表示板に掲示された日光杉並木オーナー



「日光杉並木オーナー制度」により杉並木オーナーになると並木杉にオーナーの名札が表示されます



3)(社)日本配電制御システム工業会 JSIA 永年功績者表彰 2010年05月27日

弊社会長が永年にわたり配電制御システム製造に係る事業に携わり企業経営に尽力し業界の進捗発展に寄与し今日の繁栄と国民生活の向上に貢献した功績が認められ表彰されました。



(社)日本配電制御システム工業会第28回定時総会(会場：香川県高松市)において、平成22年配電制御システム工業永年功績者表彰式が行なわれ、弊社会長に表彰状と記念品が贈呈されました。

永年功績者表彰の表彰状

4) 事業承継セミナー講師

於：栃木県南地域地場産業振興センター(足利市) 2011年01月18日

於：佐野商工会議所会館(佐野市) 2012年02月09日

財団法人栃木県南地域地場産業振興センター：地域課ものづくり支援ご担当様から事業承継に関する講演依頼があり、弊社会長が講師を担当いたしました。



講演に参加された各企業のオーナーや後継者の皆様



「中小企業経営承継円滑化法」の活用事例を説明する弊社会長



平成23年度会場の佐野商工会議所会館

『中小企業経営承継円滑化法』で経済産業大臣確認の栃木県第1号を受けた弊社が、事業承継円滑化法の具体的な実例をご説明いたしました。

5)(独)国立高等専門学校機構 小山工業高等専門学校 様

「校長対談～卒業生を訪ねて～」

平成23年09月20日

弊社代表の母校である(独)国立高等専門学校機構 小山工業高等専門学校様のご訪問を受けました。今回のご訪問内容は「校長対談～卒業生を訪ねて～」と題しての、小山高専 OB である弊社社長と校長先生の対談でした。対談では、弊社代表の学生時代の過ごし方や現在の仕事状況などをお話しいたしました。



弊社代表(左)と小山工業高等専門学校校長 荻谷勇雅 様



弊社代表が過ごした高専での学生時代の話や、大学進学・地元の電気工事会社での修行時代を経て弊社入社(14年目)したことなど、学生から現在の仕事までについて対談しました。



弊社主力製品である制御盤の製造過程をご覧になる校長先生

そのほか、「中小企業経営承継円滑化法」の経済産業大臣「確認」を栃木県の第一号で受けて事業を引き継いだこと、「現場作業者」と「経営者」の両立の難しさ、2011年3月11日「東北地方太平洋沖地震」により半壊した工場を、耐震構造を強化して建て直したことなどをお話しいたしました。



弊社社長と荻谷校長との対談が掲載された「小山高専 Quarterly」2011 秋の号

『今回の対談が、将来の「ものづくり」を担う後輩たちの志にお役に立てれば、小山高専 OB 生としてうれしく思います(社長談)』。これからも、(株)協立製作所は、配電盤・制御盤の設計・製造を通し、国家・社会に貢献できる企業を目指します。

(3) 安全

1) 自動車運転に関する安全配慮

弊社は安全運転管理者選任事業所です。
従業員の業務中の安全を図るため、
様々な施策を行なっています。



弊社は安全運転管理者選任事業所です

『安全運転 がんばろう日本!!』かんばんの設置(国道四号線沿い)



国道四号線沿いの野立て看板



東北地方への幹線となる国道四号線での安全運転と、
東北地方太平洋沖地震により被害に遭われた被災地の一日も早い復興を願い製作しました。

SD カードの取得

弊社では、毎年、全従業員のSDカードを申請・
取得し、各自に配付しています。SDカードをもつ
ことで、各自に安全運転の意識付けをしています。



毎年全従業員に配付するSDカード

飲酒運転等の危険性についての社内教育研修

自動車運転時の危険性についての社内教育研修
を実施しています。朝礼での注意や警察署から
お借りしたDVDを用いて自動車運転時の注意
や飲酒運転の危険性の認識を再確認しています。



その他



『3S運動』展開中



全社用車に貼付して
啓蒙・意識向上に努めています



ドライブレコーダの全車両設置

2) 緊急事態への対応訓練

防災訓練

2011年11月12日

毎年、冬期を迎える時期に、防災訓練を実施しています。今年は新社屋を建設したため、消火器の配置場所を中心に、地元消防団に所属する弊社の従業員を講師として消火器の使い方や使用期間の確認・火災報知器の動作確認を実施しました。



新社屋建設により消火器の位置が変更されたため、消火器位置の確認と有効使用期限のチェックを行ないました。

社用車両の点検

2010年10月09日

防災訓練と同時に、社用車両の点検も従業員全員で行なっています。各車両の予備タイヤの設置場所や取り外し・取り付け方法の確認など、緊急時にあわてることのないように訓練しています。



各車両の予備タイヤの設置場所や取り外し・取り付け方法の確認



各車両の点検（車両内部の点検・オイル交換距離の確認など）



<http://www.kyoritsu-ss.com>

発行元

株式会社 協立製作所 環境・CSR 委員会

2012 年 7 月発行

この「環境・CSR 報告書 2012」は弊社ホームページでも御覧いただけます

お問い合わせ等はこちらまでお願いします

〒329-1102 栃木県宇都宮市白沢町 1825-4

TEL 028-673-6331(代) FAX028-673-6333

U R L : <http://www.kyoritsu-ss.com>

e-mail : kyoritsu@dream.com